

## 再評価結果（平成16年度 事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道259号 田原バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県 田原市 大久保町 至：愛知県 田原市 谷熊町		延長	7.3 km		
事業概要	<p>一般国道259号は、三重県鳥羽市を起点として渥美半島を縦断して愛知県豊橋市に至る延長70kmの幹線道路であり、半島地域の産業経済の発展及び観光を支える重要な路線である。田原市内は幅員9.1mと狭い区間があり、朝夕及び観光シーズンには慢性的な交通渋滞が発生しているため、田原バイパスはこうした交通需要に対処するため計画された約7.3kmの4車線道路である。</p>					
S46年度事業化	S39年度都市計画決定 (S45年度変更)		S46年度用地着手	S49年度工事着手		
全体事業費	約83億円	事業進捗率	83%	供用済延長	5.4 km	
計画交通量	27,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 8.7 (残事業) 16.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 38/72 億円 事業費：26/60億円 維持管理費：12/12億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 630/630 億円 走行時間短縮便益：611/611 億円 走行費用減少便益：16/16 億円 交通事故減少便益：3/3 億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害への備え(緊急輸送道路としての位置づけあり)</li> <li>・円滑なモビリティの確保(現道のバス路線の利便性が向上する) 他9項目に該当(定量的評価項目を含む)</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	当路線は、田原市街地周辺を通過し、豊橋市と渥美町を東西に結ぶ主要幹線道路であり、田原市より早期整備促進を要望されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	渥美半島は公共交通の利便性が悪く、移動には自動車に依存する傾向にあり、現在でも交通量は増加傾向にある。そのような中、近年では交通事故や防災面からの安全性向上や、環境負荷の少ない都市活動の実現が重要視されてきているとともに、近年の経済状況の悪化等による渥美半島地域における経済や観光への影響が懸念されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	これまでには、用地取得等において地権者との調整に時間を要すこともあったが、これまでに約74%の区間が供用されており、残された未供用区間についての問題は少なく、計画とおり事業を進めることが可能と考える。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	特に阻害要因も無く、完了に向け計画的に事業を進める予定である。					
施設の構造や工法の変更等	現段階では、新工法による大規模なコスト削減はないが、再生材、二次製品等の積極的な活用などによりコストの削減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。